

会 議 録

- 会議名 第3回みよし市男女共同参画プラン審議会
- 日時 平成25年10月3日(木)
午前10時から午前11時30分
- 場所 市役所3階301会議室
- 出席者
委員(出席) 会長：小田佳子(東海学園大学スポーツ健康科学部准教授)
正道克美(みよし市区長会副会長)
久野ひとみ(JA あいち豊田女性部三好支部支部長)
稲月かよ子(みよし市社会教育委員会副委員長)
木戸早苗(みよし商工会女性部長)
野崎又嗣(みよし市民生児童委員協議会副会長)
宮代カレン(在住外国人代表)、荒木理佳(公募委員)
岸野佳江(公募委員)
(欠席)副会長：花井伸(みよし市小中学校校長会代表)
- 事務局 加納協働部長、天野協働部次長、佐伯協働専門監兼協働推進課長、
森永協働推進課副主幹、城協働推進課主任主査、尾関女性活動推進員
- 会議公開の可否 公開 / 傍聴人数 0人

1 あいさつ

天野次長

定刻となりましたので、只今より「第3回みよし市男女共同参画プラン審議会」を始めます。

【一同起立、礼、着席】

本日は、お忙しい中、お集りいただきましてありがとうございます。

本日の会議はみよし市附属機関の設置及び運営に関する要綱第6条に基づき、会議の全部を公開としておりますので、予めご了承ください。

本日の傍聴者は、いらっしゃいません。

なお、岸野委員は、ご都合により若干遅れていらっしゃるというご連絡をいただいております。また、花井副会長は、欠席のご連絡をいただいておりますのでご了承ください。

それでは、次第に沿って始めさせていただきます。

初めに小田会長、ご挨拶をお願いします。

小田会長

おはようございます。第3回の審議会となりました。今年度中にまとめるよう進めていきたいと思っております。

さて、私の専門は体育で、夏に年1回の剣道の国際学会があります。それに参加されるのは、ほとんどが各大学の男性の先生です。

あるイギリスの先生は、普段いつも慌ただしく帰るので、理由を尋ねると、週2回の食事を作る当番だからということでした。その先生が、今年アメリカで開催されたその国際学会に出席した際に、「この期間は、食事

当番はやらなくていいのですね」と聞いたところ、「いや、帰ってからその分を毎日やるよ」という返事が返ってきて、大変驚きました。もし自分だったら、それはとても負担に思うでしょうが、彼はそれが当たり前だと言っていました。思慮の違いが面白いと感じ、また帰って考えてみようと思いました。

天野次長

ありがとうございました。

それでは、これからの進行につきましては、審議会設置要綱第5条に基づき、小田会長にお願いいたします。

2 議題

(1) プランの内容（「具体的な施策」及び「具体的内容」）について

小田会長

それでは、議題1「プランの内容『具体的な施策』及び『具体的内容』について」、事務局より報告をお願いします。

城主任主査

【説明】

小田会長

只今の報告、説明について、ご質問やご意見があればお願いします。

宮代委員

冊子のプランの内容と、資料の内容が違いますが、どうしてですか。

城主任主査

冊子の6ページは現行のプランで、資料1ページは今度見直していく内容、新プランです。

野崎委員

2ページの広報紙等による啓発の欄がイから始まっていますが、これはアからではないですか。

城主任主査

イをアに、順に訂正します。

小田会長

初めに、網掛けの部分を第1に考えてください。

荒木委員

網掛けの所ではありませんが、2ページの上、「ア 男女共同参画研修会・講演会の開催」についてです。先日の市民のつどいに初めて参加し、お話を聞いてとても良かったです。予算のことはよくわかりませんが、講師に誰を選ぶか、広報などで市民の意見を聞いてはどうでしょうか。ただどんな人でもいい訳ではないので理由と共に募集する、そうすればいろんな方面や観点から選べるし、楽しいものになると思います。

小田会長

演者の選定について、何か関わりが持てるような取り組みができないかというご意見でした。

久野委員

その件について、それぞれの項目ごとに目標があり、その目標に沿って講演会などをやっている訳で、むやみに決めている訳ではないですね。

佐伯専門監

どういう効果を求めて講師を選定するかを予め明確にしています。今現在ですと、予算とその目的効果を明らかにして、プロダクションに相談をかけ、講師候補の選定をしてもらっています。その中で、一番ネックになるのは、予算が限られていることで、みなさんのご意見をお聞きしても呼ぶことは難しいと思います。一般にテレビに1回出ると、講演料は100万円近く、2、3回出ると100万円を超えと言われています。また、講演者の予約をするのに、1年ぐらい前から押さえておかないといけないということもあります。人気がある講師だと、どんどんスケジュールが入ってしまうので、難しくなります。

そういったことから、市民のみなさんのご意見を何らかの方法で吸い上げるには、例えば、講演後、次回どんな講師がいいかアンケートをとるなどのことを考えていきたいと思います。

久野委員 もし、予算が取れない場合は、1年ではなくて2年おきにすることはできる訳ですね。

佐伯専門監 できます。

宮代委員 この人じゃないといけないではなくて、～について聞きたいという意見を聞いて、予算内で面白い人を選んではどうですか。人よりもテーマを絞って誰が呼べるのか考えればいいと思います。

小田会長 市民にそういう意識づけがあればいいですが、集客ということだけを考えてしまうと難しくなります。また、公共の予算において、今年の分をプールして来年の分と合わせて使うのは難しいのではないのでしょうか。

宮代委員 みんなに来てもらうためには、有名な人がいいと思います。

久野委員 有名な人にはお金がかかるので、2年に1回にするのもいい案だと思います。

野崎委員 今年度プールして来年度に繰り越すことはできないですよ。

佐伯専門監 個別のお金を繰り越すことはできません。

野崎委員 何か違う項目で、後に合算するのはできませんか。できないとなると、2年に1回は難しそうです。

久野委員 ほとんど無理なようです。

佐伯専門監 完全に1年分の倍にはなりません。

宮代委員 有名な人でも、この人がこのテーマに詳しくて素晴らしいという宣伝ができると、もともとテーマに興味がある人がそれを見れば、行く気になるかしれません。

小田会長 先程あったように、毎回今日どうでしたかといったアンケートを取り、そこに次回どのようなテーマにするかを書いていただければ、その気持ちがある人の意見を聞くことができると思います。2年後になるかもしれませんが。

城主任主査 先日大ホールで開催した「市民のつどい」については、アンケート調査をしていないので、次回アンケートを取るのもいいと思います。また、もうひとつとして、毎年6月頃にレセプションホールで講演会をしており、こちらは来場者に対してアンケート調査をしています。その中で、どんな人の講演が聞きたいか、出てくる人は、予算で呼ぶことができない人が多いです。

稲月委員 アンケートでは、いろいろな方をご希望されると思いますが、どなたを呼んでも一体化すると思います。先日、芸能人を呼んだ敬老のお祝いに、民生委員として初めて参加しましたが、ご老人達が幸せそうにされていて、一体になってすごくいいイメージでした。

宮代委員 その通りじゃないですか。みなさんの関心がある話題なら、この人はこんなに詳しくて素晴らしいという呼びかけがあれば、知らない人であ

っても聞きに行く気になると思います。前提条件としては、みなさんの興味がある話題だと思います。

久野委員

PRの仕方ですね。

小田会長

議題(1)プランの内容についてまとめていきたいので、その他にご意見はありますか。

岸野委員

6 ページの 1 ①ウの新規事業「子ども総合支援センター」、エ「子育て支援センター」の二つがありますが、それぞれの内容、分担の仕方、どのような機能を考えているのか教えてください。

佐伯専門監

ウ「子ども総合支援センター」は、今、構想を作っている段階で、今年度中にはできる予定になっており、そこで形が見えてくると思います。

岸野委員

検討中のセンターですか。

佐伯専門監

一応名称がつけてあり、概ねどんな形にしていきたいかはあります。今年度中に構想の案をまとめていく方向で進めています。

宮代委員

子育て支援センターは既にあるのですか。

佐伯専門監

あります。

宮代委員

それは何ですか。

天野次長

「子育て支援センター」は、未就園児の遊び場の提供ということで、親子で一緒に遊ぶ場所を提供し、そこでいろいろな相談なども行えるところです。「子ども総合支援センター」は、まだはっきりとは決まっていますが、基本的には、障がいをお持ちの子どもと親が、一緒に遊んだり相談したりできるということです。

宮代委員

説明を聞くとぜんぜん違うところということがよく分かりますが、名前だけでは同じように聞こえるので、普通の人が見て違いがピンとこないと思います。

城主任主査

「子ども総合支援センター」は、対象の年齢が 0 歳児から 18 歳まで、「子育て支援センター」は小さい子どもを育てているお母さんが対象になります。

宮代委員

今の説明でよく分りましたが、名前だけ聞くと何も知らない人が、ぱっと見て何が違うか分らないと思います。

岸野委員

せっかく新規事業で立ち上げるなら、もう少し違いがはっきり分かれると利用しやすいと思います。

天野次長

内容に、どういう方が対象でどういうことをするかを含めて記述します。

宮代委員

いろんな表現が決まっている中では難しいと思いますが、一般の市民の立場から考えると、なぜ私達の税金で二つ同じものを作っているのかと思ってしまいます。それぞれの名前で表わすのは難しいと思いますが、少しでも違いが分かるようにして欲しいです。

小田会長

具体的内容の中で、分かるようならいいですし、もし今から新しく「子ども総合支援センター」が立ち上がっていくなら、各二つのセンターの定義づけを、簡単にこの中のどこかに入れてもらえば分かりやすいです。

その他はありますか？

宮代委員 私は日本人ではないので、国際化とか外国人と載っていると目がいきませんが、5ページの「国際理解・多文化共生社会における男女共同参画」というのは、具体的にどんなことでしょうか。

城主任主査 後にも出てきますが、男性が家事や育児に関わる時間が国によってどのくらいかなど、世界的に見たいろいろな統計やデータがありますので、興味を持ってもらうために、そういったデータをホームページなどに提示することを考えています。

小田会長 具体的なものは、後で出てくるということです。その他はよろしいですか。

荒木委員 2ページの②エ「チラシ等による啓発」で、せっかくこういった会議をしても具体的にどうするか、変化をつけないと何も変わっていかないので、現実的に進めていくにはいいと思います。中には進んだ地域もあると聞きましたが、前回の審議会のアンケートでもPTA活動や地域活動に参加する男性は実質少なく、現実的に5%いないくらいでした。その辺をどうやって進めるか、具体的に考えていかないと変化がないと思います。なかなか進まない地域のお父さんの中には、行ってもいいかなと思っていても新しい場には行きにくいという人も多いので、こういったことは、現実的に進めていく上でいいと思います。

岸野委員 3ページ2①オ「教職員の男女共同参画意識の向上」で、「研修等への参加を促し」とは、具体的に教職員の研修の中で、男女共同参画の研修も入れてくださいという働きかけをするとか、また現場から講師の方を要請された場合に、協働推進課で手立てをするということでしょうか。

城主任主査 講師紹介の依頼があれば、資料などを見ながら提示する形になりますが、今現在、教職員向けの研修会の中で、男女共同参画に関するセクハラやDVなどをテーマにした内容があると聞いています。そういった研修に積極的に進んで参加していただけるよう学校への意識づけをします。

岸野委員 紹介しながら、意識づけを図っていくということですか。

城主任主査 そうです。学校現場の中で、いろいろの研修があるということなので、研修を受ける配慮をしていただくように働きかけたいと思います。

岸野委員 未来を担っていくのは子どもたちだと思うので、子どもたちを育んでいく教職員の方々に意識づけをすることは、とてもいいことだと思います。うちの子どもも、中学生の時に、男女共同参画の川柳を国語の時間に書いたことよって、性別を見直すきっかけになったと言っていましたので、教職員の意識向上を書いていただいてありがたいと思いました。

小田会長 今日は、花井先生がいらっしゃらないのでよく分かりませんが、おそらく教職員は、年に何時間かの研修が決まっていて、大抵は教科や担当で研修に出ます。その中の一般の中に、必ずDVや男女共同参画に関するものもありますが、通常は選びません。やはり、最低限度行かなければならないもの、最低限度やらなければならないものしか取らないので、これを何と

か広くみんなが受けるように、例えば、1年毎3人ずつのローテーションで、必ず3年に1回受けるようにするなどの取り組みをしていこうということだと思います。

岸野委員 ぜひ、そのようにしていただきたいと思います。ありがたいです。学校教育課の方の考えもあると思いますので、ぜひプッシュして欲しいです。

小田会長 では、プランに記載し推進してください。

アンケートでも、会社より学校教育の中では男女共同参画意識が高いということでしたので、さらに強化していくようお願いします。

それでは、次の議題もありますのでよろしいでしょうか。

(2) 「みよし市の男女共同参画を取り巻く状況」について

小田会長 議題(2)「みよし市の男女共同参画を取り巻く状況」事務局の説明をお願いします。

城主任主査 【説明】

小田会長 アンケートをせっかくとっているもので、新たに第3章に状況を組み込んだらどうかということでまとめているので。

何かこの件につきまして、ご意見・ご質問があればお願いします。

先程、敬老会で高齢化が進んでいるという話がありましたが、県全体や全国的に見ると、みよし市はとても若い働き盛りの市であって、なおかつ高齢者が徐々に増えていると言いつつも、高齢者の方々が、どんどんコンサートなどに出ていきたいという意欲があるというのは、とてもいい状態ではないかと思います。

野崎委員 表題の「みよし市男女共同参画」について、“市”を付けるのか付けないのか統一をした方がいいと思います。

15ページのグラフで、平成24年の4月1日と10月1日をどちらかに統一することは難しいですか。比較するのに半年違うとどうでしょうか。

佐伯専門監督 みよし市の人口について、毎月数字は出していますが、グラフの形にしたものを出す時期が県や国と異なっており、今回グラフをそのまま引用しましたので調査日時が違ってきます。

宮代委員 グラフにまとめたのは、今回だけです。それともこれから定期的にまとめていくのですか。

城主任主査 これは、新しいプランの冊子の中に入れていきたいと考えているものです。

宮代委員 それは分りますが、それだけで終わりなのか、継続的にその傾向を見るつもりがあるのですか。

佐伯専門監 このグラフは、みよし市でも愛知県でも定期的に出していますので、それを継続的に見るためには使っていきたいと思っています。

宮代委員 この中には、とても興味があり面白いと思ったものがたくさんあり、来年、再来年はどうなっているのだろうかと思いました。例えば、私の周りの若い人たちは、育児休暇を取って仕事を辞めない人がほとんどな

ので、この結果が本当かなと思い、2～3年後はどうなっているのか興味があります。後で他の所でもいいので、これをフォローできるような形にして欲しいと思います。

野崎委員

追加としてどういう形でやっていくかどうかですね。

宮代委員

これは、とても面白いのですが、時系列で見る方がもっと面白いと思います。これは今の状態なので、来年、再来年の状態ももっと見たいと思います。

佐伯専門監

こちらで把握できる範囲で、例えば3年後、5年後にその時点での統計がありましたら、このようなグラフをホームページなどに掲載していきたいと思います。

宮代委員

この場では、みなさん分りましたが、一般の人はこれを見ただけで終わってしまうので、ホームページなどに情報があることを周知するの必要があります。

城主任主査

先程の新プラン案に新しく盛り込んだ中に、チラシの作成などがありましたので、折を見てこういったものを入れると、みなさんの目に触れる機会になると考えています。

正道委員

情報を毎年出しても、あまり変わりはないのではないですか。

城主任主査

国政調査のデータを元になっているものがありますので、毎年出すことは難しいと思います。

宮代委員

あまり変わらないものもあれば、1年だけで変わるものもあるので、時系列で見ると傾向が分かると思います。

正道委員

毎年出しても変化がなければ意味がないです。

久野委員

単位が大きいと、多少数値が変わっても違いが分らないと思います。

宮代委員

10年経って変わるものもありますが、私はM字カーブに興味があり、とても変わるような気がします。

城主任主査

M字のグラフについては、国政調査の結果を基にしており、5年に1回になりますので、それが出た時に合わせてそういったものを提示するのもひとつの方法かと思います。

小田会長

資料自体がとても興味のある面白いものなので、新プランの中に盛り込んでいくということについてはとてもよいことです。あとは、今後も継続してこういった審議会を開き、次の3～5年のスパンで、いいものがあればこのまま継続していただきたいと思います。またそういうことを、声を大にして言っていかなないと、せっかくまとめても、違いがなく興味もそそらないし、意味がないじゃないかということになれば削られることになりますので、今後の動向を見ていただいて興味を湧いた部分をみなさんに提供し、広がっていけばと思います。

その他、一つ一つのグラフ等などを見て、ここはどうだという質問やこれについてとても興味があるというご意見はありますか。

岸野委員

20ページの「夫の家事・育児時間が長いほど、第2子以降の出生割合が高い」というグラフは、初めて見たのでとても興味を持ちました。

今出されている改訂版パートナーの中には、みよし市の状況がなかったので、そういうものが盛り込まれるということで、身近に感じていただけてとてもいいことだと思いました。これをまとめるにあたっては大変御苦労されたと思いますが、冊子を見ただけでは、そういった面白い情報があることが分らないので、何かその辺りの工夫がなされると、これを手にとって自分たちの市はこういう状況だということが分かり、より効果的だと思いました。

佐伯専門監 今の状況を知ることは大事ですから、ここが前提になっているということを入れるように考えます。また、ダイジェスト版も作成しますので、そういうところで目立たせることも考えていきます。

小田会長 特に、20ページの下グラフからも、子どもが欲しいと具体的に考えているがなかなか難しいと思っている人たちが、統計的にこういうものが出ていて実態が分かると、お父さんも助けることを考えてくれるかもしれません。

また、21ページの「育児期にある夫の1日あたりの家事・育児時間の国際比較」をみても、先程のご飯を作るために帰るイギリスの先生もそうでしたが、データであるような実際1日あたり3時間も家事をしてくれるお父さんの場合、例えば、夜7時に帰ってから10時まで3時間、立ちっぱなしで家事をしてくれる状況が本当にあるのでしょうか。

木戸委員 朝、洗濯物干してくれるとか、洗い物をしてくれるお父さんもいます。実際にうちもそうです。また、朝起きて、お母さんはお弁当を作る、お父さんは洗濯をするというように、朝の7時から8時の1時間を家事に充てるとか、仕事から帰ってから子どもをあやしてくれたり、仕事帰りにお買い物をしてくれたりする人もいます。それは、同居していない場合がほとんどです。

小田会長 この数字としては1時間と出ていますが、そういった時間を合わせていくと、諸外国では3時間になるということですね。

正道委員 最近の若い世代は、夫婦で協力し合っていますが、40～60代はそうでもないようです。協力し合う若い世代が伸びていけば、変わってくると思います。

宮代委員 国際的な専業主婦の割合はどのくらいなのか、それにも関係していると思います。海外の場合、圧倒的に共働きが多いのなら、当然夫は手伝うだろうし、専業主婦が多いのなら、専業主婦がどこまで自分の仕事だと意識しているかにもよりますが、夫が手伝う部分が少ないのではないのでしょうか。

小田会長 データでも出ていますが、共働きの若い人たちは、子どもができれば出来るだけ妻は育児に専念し、また手が空いた時に働きたいと希望しているようです。そうすると子育てや家事に専念している時間が違ってくると思われます。

宮代委員 自分の中でも、若い時、子どもが小さい時、子どもが大きくなった時、

聞く時期によって答えが違うかもしれないし、共働きか専業主婦かによっても違うと思います。

小田会長 今現在とは違うかもしれませんが、宮代さんがアメリカにいらっしゃった時、実際に専業主婦か共働きか、どちらが多かったのでしょうか。

宮代委員 統計的にはわかりませんので、自分の感覚でしか言えませんが、私の小さいときは、専業主婦が圧倒的に多かったです。そのひとつの理由は、日本のような保育制度がなく、子どもが小さいうちは家で見るしかなかったからだと思います。お金持ちの家庭は、ベビーシッターを雇いますが、一般的な人ではそれもできないので、結局、働きたくても安心して子どもを預けるところがないのです。以前より何かをして働きたいと思っている人は多くなっていると思いますが、今でもアメリカは、保育制度にまだ問題があるので、まだ同じ状態だと思います。日本の保育制度は素晴らしいので、本当に恵まれています。ただ、小学校に上がると難しくなるようです。

小田委員 その状況下で、アメリカでは、例えば専業主婦のお母さんは、当然のように家事一般・育児を全部して、仕事から帰ってきたお父さんにお疲れ様と言うのか、夫が帰ってきたら、はい家事や育児をやってと言うのか、どちらでしょうか。

宮代委員 それは、夫には手伝ってもらうのが当たり前だと思っていると思います。ただ、専業主婦がやっている部分と、夫がやっている部分は当然時間が違うので、その割合が少なくなります。

小田委員 帰ってきたら、「お疲れ様でした、休んでいて」ではないのですね。

宮代委員 子どもと触れ合って欲しいので、子どもとスキンシップをしてもらいたい思いがあります。それと、残業は少ないです。

小田委員 その辺の夫婦の感覚が違いますね。イギリスでもそう感じました。お母さんは専業主婦で子どもが2～3人いる家庭で、お父さんは仕事から大慌てで帰ると、その瞬間からサラダ作り、次はスープとそのまますぐにキッチンに入っていました。

久野委員 このアンケートは、共働きと専業主婦の方の割合は分りますか。共働きと専業主婦、またパートか、正社員で働いているか、それによっても時間数が変わり、随分答えが違ってくると思います。21ページの表も、外国と日本では簡単に比較できないと思います。

宮代委員 それだけではなくて、海外と日本を比較する場合に気を付けなければならないのは、文化がぜんぜん違うところです。例えば、よく海外の人に「日本の場合は海外から見て、女性の地位がとても低いでしょ」と言われますが、私は「そうでもないと思います」と言います。どうしてかということ、今はだんだん変わりつつありますが、日本の場合は、男性はこれをやる、女性はこれをやる、という男女の役割がはっきりしていて、その中でそれぞれの権力があるからです。例えば、教育に関しては女性が決めて、男性は女性の言うことに大抵従うとか、家計を握っているの

は女の人の方が多いとかで、これは大きいことです。

アメリカは違います。1950～60年代は、男性が全部やって、女性はそれに全部従わなくてはなりませんでした。それは嫌ですよ。その頃の女性の権利はどこにもなく、プライドや責任を持つことができなかったから女性運動が起こったのだと思います。でも、日本の場合はそうではなく、女性は女性ですごく強いところがあります。違うのは、女性が、女性の昔からある与えられた役割ではなくて、男性の役割の方がやりたいという場合に難しくなることです。日本と外国は文化など根本的なところが違うので、単なる違いの比較ではなく、もっと深い訳があると思います。

木戸委員

先程、正道さんがおっしゃったように、年代によって変わってくるということもありますが、昔に比べて、今はインターネットやテレビなどの情報もたくさんあります。うちの娘は、イギリス人と付き合っていて、『洗い物はぼくがやるから』と言われて、父親と全然違う、外国人の方がいいわ』と言っていました。育ち方の違い、文化の違いがとても大きいと思います。今の若い人たちには、こういうことがたくさん叫ばれてきているので、推移を見ていくのも大事だし、みなさんにもっともっと知らせていくことが大事だと思います。

小田会長

比較は時間や数値などでできますが、根本的なこういうものが出ないと考えもしないので、その裏にあるものをそれぞれの価値観と年代とで捉えていくことだと思います。ただ、先程言われたように、日本には日本の文化としての分担制があり、男女の役割があって、その役割の中で一緒に高まっていけるような方向に働きかけるべきだと思います。今は、どっちかという、女性がお金も持っていて、権力も家庭の中ではきちっと押さえておきながらもこっちもというようになり、今度は男性の方が帰ってきたらあれをやれこれをやれと言われてやりにくい、できるだけ家に帰らないでおこうというようなことにならないように、お互いに前向きにやっていけるよう協力出来るところはして、活かして欲しいと思います。外国を見て、何でも取り入れるというのでは決してなく、他国がやっていて日本ではどうしてできないのかという部分と、日本のいい部分とを考えながら、客観的に見て取り入れていくことが大切です。

正道委員

最近では、女性の職業上の進出はかなり進んでおり、例えば大工、左官、大型トラックの運転手や建築設計士、宇宙飛行士であっても女性がいます。そのような状態を見ると、相当女性もそういう職場に進出してきた時代背景を感じます。

小田会長

エンジニアとか工学部系にも女性がたくさん増えました。昔とは人数が随分違います。

宮代委員

すごくギャップがあるような気がします。とても進んでいる部分もあればそうでない部分もあります。私は、製造会社に勤めていましたが、女性の係長は一人もいませんでした。現場に行けば、女性もわずかにい

ますが、上には上がりません。それが望ましいかどうか分かりませんが、少しずつは変わっていくと思いますが、伝統的に男性がやっていた分野で女性がやっていくには、まだまだ平等にはなっていないと思います。

小田会長
宮代委員

会社それぞれのシステムによってでしょうか。

分野によっては、例えば学校や病院などは、もう少し進んでいるような気がします、私が働いていた製造関係は、まだまだ男性の社会という感じを強く受けました。

正道委員

例えば、市役所の女性職員が、課長に抜擢されようとした時、「課長になるなら、私は退職します。」というような場合もあります。責任分野においてそれに対する職責を全うできるかどうかにかかってくると思います。

宮代委員

そうですね。以前のこの審議会でもそういう話が出ていました。女性自身がその意欲がないとそういうことになりますね。

正道委員

100%力があってやる人と、50~60%でやる人とがあるので、周りの人がいかにフォローしていくか、それがコミュニケーションでありチームワークであり、それをいかに上手にするかによって採用する割合が上がってくると思います。それには、周りがそういう認識でないといけないし、「あなた課長でしょ」と言われても名前ばかりではできない、また所管が違うから分かりませんでは通りません。そこで周りの人の助言や助けが必要です。そういった共存社会の中で、支える人達の思いが大事です。

宮代委員

チキンが先か卵が先かといった問題で、女性も変わらないと事情も変わらないと思います。どうして女性が変わらないのかというと、昔から「あなたがやることではないでしょ、あなたはできないでしょ」と言われ、そういう気持ちにさせられて引くようになってしまうのではないのでしょうか。どっちをどうすればいいのか答えは分かりませんが、女性自身の考え方、意識を変えないといけないと思います。

小田会長

はい。時代とともに、目に見えて今の若者たちと私たちとは変わってきていますので、これからの方向性を見ていきたいと思っています。

(3) 数値目標について

小田会長

議題(3)「数値目標について」事務局の説明をお願いします。

城主任主査

【説明】

小田会長

この設定した数値について、ご質問、ご意見がありましたらお願いします。

野崎委員

22ページの下のみよし市における女性の登用で、4月1日現在と書いてあるのには何か意味があるのですか。上に書かれている数値についても、同じく4月1日現在で目標を達成するのですか。

小田会長

4月に統計が出る予定なのか、現状である数値だからこの日が出ていますという意味で書いてあるのかということでしょうか。

佐伯専門監督

そうです。前の方のグラフでは、平成24年度ということが出てきていますが、基本的に現状で掴めるものが平成24年度までの数字なので

そうなっています。この調査に関しては、今年の4月1日に行いましたので、そういう意味で記載しています。4月1日から新しい委員会が立ち上がってきますので、24年度とは違った最新の数字を使用したということで、平成25年4月1日現在と入れております。

小田会長

日付を計画にしたということですね。ただ、平成30年度についても4月1日に出す予定であるかということについてはどうですか。

佐伯専門監

特に日にちは要らないと思います。

小田会長

それでは、資料として入れたということで、プランの中には入れないということですね。その他にご意見はありますか。

では、よろしいでしょうか。

以上で予定されている議事はすべて終了いたしました。慎重なるご審議ありがとうございました。いただきましたご意見は、プランの見直しに反映していただきますよう事務局にお願いいたします。

これを持ちまして本日の議事を終了いたします。

それでは、事務局から連絡事項等がありましたらお願いします。

3 その他

天野次長

ありがとうございました。活発なご意見をいただきまして、また次の審議会に反映していきたいと思っております。

なお、今回は、11月14日(木)10時からの開催を予定しています。詳細につきましては、改めて文書で開催通知をお送りいたしますのでよろしくお願いいたします。

それでは、一同ご起立ください。

【一同起立、礼】

ありがとうございました。